

別紙資料 3

放射線治療プロジェクト RAS6086－活動報告

福島県立医科大学 放射線腫瘍学講座 准教授

IAEA/RCA 国内対応委員会 副委員長 **田巻 倫明**

がん（悪性腫瘍）は全世界で深刻な課題で、その発生率や死亡率の増加は先進国よりも途上国において顕著である。一方で、がんに対する医療施設や人的資源は圧倒的に途上国の方が不足している。必然的に RCA の保健領域プロジェクトでも、がんの診断や治療に対する関心は高い。

2000 年以降、日本は計 8 つの RCA 放射線治療プロジェクトのリード国を務めてきた。これらのプロジェクトのトレーニングコースでは、延べ約 1000 人もの放射線治療専門家たちが教育を受け、その後、彼らは主に各国内の放射線治療学会で活動しながらその国の放射線治療の向上に努めている。2015 年にはこれらの放射線治療医らが結集し、アジア地域における放射線治療やがん医療の発展させるために Federation of Asian organizations for Radiation Oncology (FARO) を創立した。2018 年から開始された RAS6086 プロジェクトでは、RCA 地域の国内放射線治療学会や FARO が主体となりトレーニングコースを開催することで更なる専門家の養成をするとともに、これらの学会の活動や連携を強めながら RCA 地域の放射線治療の自立的な発展を目標としている。過去の RCA 放射線治療プロジェクトの歴史や成果を紹介し、RAS6086 の活動報告を行う。